

自然に触れて
世界とつながる

2026年度

ミクロネシア 諸島自然体験 交流事業

参加者募集

事業期間

7/28(火) ~ 8/6(木)
(9泊10日)

日本と歴史的つながりが深いミクロネシア諸島のサンゴの海や森など豊かな自然の中で、自然体験や異文化体験及び同世代の現地の子供たちとの交流などを通じて、自然の素晴らしさや共存することの大切さを学ぶとともに、環境問題への理解を深めます。

対象 小学5年生～中学2年生

定員 48名

参加費 150,000円(税込)

訪問地域 マーシャル諸島共和国
ミクロネシア連邦
パラオ共和国

【応募方法】

HPより募集要項をご確認ください。

申込期限：2026年5月10日(日)



【問い合わせ先】

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 国際・企画課

TEL : 03-6407-7725 (平日9:00~17:00) E-mail : honbu-kokusaikikaku@niye.go.jp

詳細は、裏面をご確認ください

【主な活動内容】



①海や森林での活動プログラム
豊かな自然の残る地域を訪問し、サンゴの美しい海での遊泳、浜辺遊び、亜熱帯のジャングル散策などを行います。自然を観察し、自然の大切さや雄大さを学びます。

②安全を重視した野外生活体験
1泊2日の離島生活体験では大自然の中で食事や宿泊（ロッジや小屋）を行います。

③ホームステイ
島の人たちが普段どのような生活をしているのか、一緒に過ごすことにより異文化を体験し、交流を深めます。



④スポーツ・レクリエーション
訪問先の同世代の子供たちと、スポーツや歌、踊りを通して、文化交流を行います。

⑤平和学習
太平洋戦争について、現地での戦跡等につれ、現地で亡くなられた方達に思いを馳せるとともに、平和の大切さを学びます。



※気象状況などにより、活動内容が変更される場合があります。

【主催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構

【後援】 マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国

【募集人員及び応募資格】

日本国内に在住している小学5年生から中学2年生までの児童生徒 48名

- ①初めて出会う日本や外国の子供たちとともに、仲良くスポーツやレクリエーション活動、生活ができること。
- ②自分の身のまわりのことは、自分でできること。
- ③自然の中でのキャンプや、海や森の中での活動ができること。
- ④普段の生活と異なった場所で共同生活ができること。
- ⑤いつも飲んでいる薬がある場合、決められた飲み方、飲む量を自分で確認して飲むことができること。
- ⑥飛行機や船などを利用した長時間の移動ができること。

参加者の声（2025年度）

○今回のこのミクロネシア事業で体験したことは、初めてのことでばかりで緊張していたけど、どれも楽しかったです。どれもこれも忘れられない心に残る体験になりました。

○英語やコミュニケーションの大切さを知ることが出来ました。私は前まで英語がすごく苦手でしたが、この事業に参加したおかげで英語を学ぶ意味を知ることが出来ました。将来私は戦争を無くしてゴミ問題も解決できるくらいたくさん勉強したり、このような事業に参加したりしていっぱい活躍したいです。

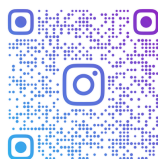
○水の大切さが分かったし、ゴミの処理など、日本のすごさもよくわかりました。僕は、この事業を通して人の役に立つことをしていきたいと思いました。



ミクロネシア諸島とは、フィリピンの東からハワイにかけて、赤道より北に点在する大小2,000以上の島々からなる地域の総称です。美しい砂浜、マングローブの森や植物群、熱帯のジャングルなど世界でも類を見ない「自然の宝庫」と言われています。



※本事業は訪問する地域の治安が悪化している場合、実施を取り止める可能性があります。



活動の様子はこちらから！

この事業は、子どもゆめ基金の普及・啓発事業として実施しています。



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

